学校番号	４１１

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）/新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料 COMPLETE2019（帝国書院）/新地理の研究（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理とは地球上で起きている様々な事象，またそれを創り出している地球環境そのものです。つまりは，広い意味では世界の歴史や，日本の歴史も含まれるといってもおかしくはありません。まずはしっかりと地理的事象の器にあたる地形や気候を自分のものにすることで，その土壌で人間生活や農業・産業が発展していくかの理解につながります。

このように色々な分野に横断的に学べるのが地理です。「つながり」を意識して学習することで，過去から現在・未来，また現在地から全世界へと地理的認識を広げロマンを感じて下さい。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的事象を系統地理的に，現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きるに日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	○地理的諸事象，ないしは現代世界の諸地域や諸課題に興味・関心を抱き，それらを自分自身の生活との関わりから積極的に位置づけ，結びつけることができる。 ○地理学習の意義を積極的に見いだし，そこで得た知識・技能・態度をより良い社会生活へ向けて，ないしは現代世界の諸地域で起こっている諸課題の解決に生かすことができる。	○地図化する過程を通じて地理的諸事象をさまざまな角度から分析・考察・解釈し，そこから地理的概念や規則性（地理的見方・考え方）を見いだすことができる。 ○現代世界の諸地域の特色について歴史的背景との関わりから地誌的に考察することができる。 ○地理的概念や規則性をもとに，現代世界の諸地域で生じている諸課題の現状について把握することができる。	○地理学習に必要とされるさまざまな資料を収集し，それらを的確に取捨選択し，調査・分析することができる。 ○文献や統計の分析，野外における諸事象の観察から，地理情報を見いだし，それを的確に地図化することができる。 ○地図化したことを，論理的に分析・解釈することで，その成果をパワーポイントやレポート等に的確にまとめることができる。	○地理的諸事象や現代世界の諸地域の特色，諸地域で起こっている諸課題についてさまざまな角度から理解を深めることができる。 ○地域において社会生活を営むにあたって必要とされる基礎的知識や基本的概念（空間・環境・地域），地理的見方・考え方を身につけている。
評価方法	作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント	定期考査 作業プリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	**2章　資源と産業** **7節　世界を結ぶ交通・通信** 1　世界の交通網 2　情報と通信の発達			○	○	a:世界を結ぶ交通・通信について，交通機関の種類や特徴に対する関心を高めるとともに，通信の発達による世界の一体化と地域差に対する課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:交通機関や通信の発達によって一体化が進む世界が抱える課題について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，世界を結ぶ交通・通信網の分布や地域差について読み取ることができる。 d:交通や通信の発達の状況や一体化の進行，地域差の拡大などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		8節　現代世界の貿易と経済圏 1　私たちの生活を支える貿易 2　国際分業の発達と貿易の地域間格差 3　貿易の自由化と経済連携 4　日本の貿易の現状と課題	○		○	○	a:現代世界の貿易と経済圏について，国際分業が進む世界と日本の貿易の現状に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:現代世界の貿易と経済圏について，国際分業の現状と課題をふまえて，貿易の自由化と経済連携の動向と課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，現代世界の貿易と経済圏の規模や地域間関係について読み取ることができる。 d:貿易に関する用語や経済圏の組織，世界の貿易の特色や動向などなどを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		4章　生活文化，民族・宗教 **3節　現代世界の国家**				○	a:現代世界の国家について，その領域や国境，国家形態そのものの違いに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:現代世界の国家について，国家と領域・国境のあり方，国家と主権の考え方，さまざまな国家と国家間の関係の課題を，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:領域・国境やさまざまな国家に関するデータなどの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，現代世界の国家の特徴について読み取ることができる。 d:国境と領域のきまり，さまざまな国家の分類などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
	第Ⅰ部　さまざまな地図と地理的技能	**1章　地理情報と地図** **1節　地図の発達** 1　現代世界の地図 2　世界観の変化と地図				○	a:現代世界の地図について，さまざまな技術を利用してつくられた地図の読図や比較，地理情報の地図化などの活動を通して，現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:リモートセンシング・GNSS・GISなどを利用してつくられた地図の有用性について考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 時代背景や地図の中心の違いなどによる世界観を考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:作成方法や世界観が異なる現代世界のさまざまな地図を収集・比較し，有用な情報を適切に選択できる。 d:リモートセンシング・GNSS・GISなど現代世界の地図作りに利用される技術の特徴と有用性を理解し，その知識を身につけている。 世界地図における各時代の人々の世界観の変化を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		2節　地図の種類とその利用 1　地球上の位置 2　時差の求め方 3　地球儀とさまざまな地図				○	a:地図の種類とその利用について，球体としての地球の特徴や緯度・経度の違いによる影響，地図に表現した場合の特性に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:地図の種類とその利用について，緯度の違いによる人々の生活への影響や，球体を平面に表現した地図の種類とその利用について考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:地球儀を用いて，地球上の任意の地点の緯度・経度を表したり，大陸間の方位や距離，時差を示したりする方法を身につけている。 d:球体としての地球の特徴と位置を地球儀に示す方法，これを地図に表現した場合の各図法の長所短所について理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		3節　地理情報の地図化			○		a:地理情報が表現された地図の作図や読み取りなどの活動を通して，地図の有用性に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:地理情報を統計地図化するにあたり，どのような表現方法を用いれば適切な地図がつくれるかを考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:さまざまな統計地図から，示された情報を適切に収集するとともに，地理情報を地図化する際，情報の特性に応じて地図の形態を使い分け，適切な統計地図を用いることができる。 d:統計地図の種類や長所短所，適する用途を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		2章　地図の活用と地域調査 **1節　地図の活用** **2節　身近な地域の調査** 1　調査テーマの設定 2　課題の調査 3　調査結果のまとめと発表	○	○	○		a:地図の活用と地域調査について，地形図の読図や資料収集などを意欲的に行い，地域調査に対する関心と課題意識を高めている。 b:地図の活用と地域調査について，地形図や資料を活用した地域調査を通して生活圏の地域的特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:地形図の読図などを通して，調査内容に関する地域の情報を適切に収集・選択できる。 d:地域調査の情報収集から発表までの方法や地形図や空中写真の利用方法を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	**1章　自然環境** **1節　世界の地形** 1　地形の成因 2　地球規模の大地形 3　河川と海岸の小地形 4　そのほかの特徴的な地形		○	○	○	a:世界の地形について，その分布や特徴，成因などについて関心を高め，災害や土地利用など人間生活とのかかわりについて意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の地形について，その分布や特徴を成因と関連付けて考察するとともに，人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:地形図や写真などの資料から，有用な情報を適切に選択し，その地域の地形の特徴と成因を読み取ることができる。 d:世界の地形について，分布や特徴，成因や人間生活とのかかわりについて理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		2節　世界の気候 1　気候の成り立ち 2　世界の気候区分 3　気候と植生・土壌 4　変化する気候		○	○	○	a:世界の気候について，地域ごとの気候の違いや人間生活との関係に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の気候について，地域ごとの違いや特徴を，地球規模の循環現象などと関連付けて考察するとともに，人間生活とのかかわりを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界の気候について，地域や気候区ごとの違いを示す雨温図などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，その特徴や相違点などを読み取ることができる。 d:世界の気候の成因，各気候区の特徴，気候変動と異常気象などについて，系統地理的にとらえる視点や考察方法，人間生活への影響などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

2学期	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	**3 節　日本の自然の特徴と人々の生活** 1 日本の地形 2 日本の気候 3 開発に伴う災害と防災			○		a:日本特有の地形・気候と，これによって生じる自然災害の特徴や防災のあり方について関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:日本の地形や気候の特徴を，プレートや大陸との位置関係などから考察するとともに，日本で発生しやすい災害の特徴やこれに対する防災のあり方を多面的・多角的に考察し，その要因や課題を適切に表現できる。 c:日本の地形と気候，自然災害と防災に関するデータや写真などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，日本の地形と気候，自然災害と防災の特徴や課題を読み取ることができる。 d:日本の地形と気候の特徴とこれによって生じる自然災害の特徴や防災のあり方を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		3 章　人口，村落･都市 **1 節　世界の人口**		○		○	a:世界の人口について，その分布の特色や動態，人口構成や人口転換に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の人口について，世界の人口分布のかたよりと人口増加の原因，人口構成と人口転換の考え方，国際的な人口移動の背景を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界や州別･国別の人口分布や動態に関するデータ，人口ピラミッドなどの諸資料から，有用な情報を適切に比較・選択し，世界人口の特色や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。 d:世界人口の分布と動態，人口構成の特色と人口転換のしくみを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		2節　人口問題 1　世界の人口問題 2　発展途上国の人口問題 3　先進国の人口問題 4　日本の人口問題	○	○		○	a:発展途上国と先進国のそれぞれについて，人口問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の人口問題について，発展途上国と先進国の違いをふまえて，それぞれの課題を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:人口爆発や少子高齢化の人口動態に関する統計や事例などの諸資料から，有用な情報を適切に比較・選択し，人口問題の動向や国・地域ごとの差異について読み取ることができる。 d:発展途上国，先進国，日本のそれぞれについて，人口問題の実態を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		3節　村落と都市 1　集落の成り立ち 2　村落の形態と機能 3　都市の機能と生活		○		○	a:村落と都市について，その立地条件や発達経緯，機能に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:村落と都市について，その立地や構造を，地域の歴史や自然条件，社会条件などをふまえて多面的・多角的に比較・考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:村落や都市の形態や分布，人口規模，都市の地域構造などに関する統計や地図などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，村落や都市の有する機能や発達経緯などについて読み取ることができる。 d:村落と都市の立地条件や，発達の背景，機能などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		6節　第3次産業 1　第3次産業の発展 2　多様化する観光産業 3　日本の観光産業		○	○	○	a:第3次産業について，近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:第 3 次産業の地域差や近年の動向について，情報化や国際化進展の影響などをふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:商業やサービス業，観光業の動向に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，第３次産業の動向や地域差について読み取ることができる。 d:商業やサービス業，観光業の特色や動向などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		4節　都市･居住問題 1　世界の都市･居住問題 2　発展途上国の都市･居住問題 3　先進国の都市･居住問題 4　日本の都市･居住問題	○	○		○	a:発展途上国と先進国のそれぞれについて，都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:都市・居住問題について，世界の都市･居住問題の要因や対策をふまえて，日本の都市・居住問題の対応と課題について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:都市・居住問題について，世界の都市･居住問題の要因や対策をふまえて，日本の都市・居住問題の対応と課題について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 d:発展途上国，先進国，日本の都市・居住問題の特徴や，解決への道筋などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		4章　生活文化，民族･宗教 **1節　世界の衣食住** 1　世界の衣食住の地域的差異 2　衣食住の世界的な画一化 3　日本の衣食住	○			○	a:世界の衣食住について，地域的差異が生じていることに対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の衣食住について，さまざまな衣食住の地域的差異の背景，世界と日本の衣食住の変化と世界的な画一化の要因を，自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界の衣食住の写真や分布図，巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，生活文化の地域的差異や画一化の様子について読み取ることができる。 d:衣食住の分布や地域的差異の特徴，画一化の進展状況などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		2節　民族と宗教 1　世界の民族･言語 2　世界の宗教		○		○	a:民族と宗教について，その分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:民族と宗教について，民族とは何かを言語とのかかわりから，宗教とは何かを生活とのかかわりから，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:民族と言語や，宗教と生活のかかわりに関する写真などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，民族・宗教の分布や特徴，生活とのかかわりについて読み取ることができる。 d:世界の言語分布や宗教の特徴，生活とのかかわりなどを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		4節　民族･領土問題 1　世界の民族･領土問題 2　多様な原因をもつ民族･領土問題 3　共生に向けた取り組み 4　日本の領土をめぐる問題と外国人との共生	○	○		○	a:民族・領土問題について，そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:民族・領土問題について，世界各地や日本の事例を取り上げ，問題が起こる背景や，これを解決して民族が共生するための方策を，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:世界各地でおこっている民族･宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。 d:世界各地の民族･宗教や領土に関する問題や多文化共生の取り組みなどを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		5節　環境問題 1　世界の環境問題 2　さまざまな環境問題 3　日本の環境問題	○	○		○	a:世界と日本の環境問題の原因，影響，対策に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界と日本の環境問題の原因，影響，対策について，自然環境の学習内容などと関連付けて多面的・多角的に考察し，特徴や地域的な分布，今後の課題などについて適切にまとめ，表現できる。 c:世界と日本の環境問題に関するデータや写真などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，状況変化の推移や地域差などを読み取ることができる。 d:世界と日本の環境問題の原因，影響，対策などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		2章　資源と産業 **1節　世界の農林水産業** 1　農業の発達と分布 2　農業の地域区分 3　現代世界の農業の現状と課題 4　世界の林業･水産業 5　日本の農林水産業		○		○	a:世界の農林水産業について，現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め，農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:現代世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:現代世界や日本の農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。 d:世界の農林水産業について，自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

3学期	第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察	**2節　食料問題** 1　世界の食料問題 2　発展途上国の食料問題 3　先進国の食料問題 4　日本の食料問題	○	○		○	a:食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:食料問題について，発展途上国や先進国，日本の食料問題の状況とその成因を，系統地理的にとらえる視点や考察方法を考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:食料の生産と消費の推移や地域的かたよりに関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，食料問題の現状や課題について読み取ることができる。 d:食料問題について，その要因となりうる自然条件や社会条件などを理解し，それらの対策などに関する知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		3節　世界のエネルギー・鉱産資源 1　エネルギー資源の種類と利用 2　化石燃料の分布と利用 3　電力の利用 4　鉱産資源の種類と利用		○		○	a:世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりなどに対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりを，自然環境の学習内容などをふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，資源ごとの特徴や問題点について読み取ることができる。 d:世界のエネルギー・鉱産資源について，その種類や分布，おもな利用法などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		4節　資源･エネルギー問題 1　現代世界の資源･エネルギー問題 2　さまざまな資源･エネルギー問題 3　日本の資源･エネルギー問題	○	○		○	a:資源・エネルギー問題について，生産・消費の不均衡とさまざまな資源･エネルギー問題の動向に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:資源・エネルギー問題について，生産と消費の不均衡や利用法の課題，石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方などを多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:資源やエネルギーの生産と消費に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，国や資源ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 d:資源やエネルギーの不均衡や石油情勢，エネルギーのあり方などを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		5節　世界の工業 1　工業の発達と種類 2　工業の立地とその変化 3　世界の工業地域 4　現代世界の工業の現状と課題 5　日本の工業		○		○	a:世界の工業について，工業の発達過程や種類，立地とその変化，現状と課題などに関する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:世界の工業について，工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から，有用な情報を適切に選択し，国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 d:世界の工業について，工業の発達過程や種類，立地とその変化，現状と課題，及び日本の工業の特徴と課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
	第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察	**1章　現代世界の地域区分** **1節　地域区分とは何か**		○	○		a:地域区分の目的や意義をふまえて，その有用性に対する関心を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:地域区分の目的や意義，有用性について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:地域区分の目的や意義をふまえてさまざまな地域区分を示した図から有用な情報を適切に選択し，読み取ることができる。 d:地域区分の目的や意義，方法，有用性を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		2章　現代世界の諸地域 **1節　地域の考察方法**		○			a:地域の考察方法について，地誌的に考察する三つの方法に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:地域の考察方法について，三つの方法それぞれの特徴や相違点を考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:地域区分と考察方法を示した資料から，有用な情報を適切に選択し，地誌の考察方法の特徴について読み取ることができる。 d:多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する方法，特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法，対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法の三つの方法を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		2節　東アジア 変化に富んだ地形と気候 1　中国の歩みと巨大な人口 2　中国の食生活と農業の変化 3　中国の工業化と巨大市場 4　中国の海外進出 5　朝鮮半島の歩みと文化 6　韓国の産業の発展と変化		○	○	○	a:東アジアについて，中国や朝鮮半島の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:東アジアについて，日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容，中国の人口増加と経済格差，中国・韓国の経済発展などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:東アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，東アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:東アジアの自然の特徴，日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容，中国の人口増加と経済格差，中国・韓国の経済発展などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		3節　東南アジア モンスーンの影響を受ける自然環境 1　東南アジアの歴史と文化・民族 2　東南アジアの農業とその変化 3　ASEANの結成と工業の発展 4　ASEANの変化と課題		○	○	○	a:東南アジアについて，東南アジア諸国の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:東南アジアについて，東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容，ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:東南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，東南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:東南アジアの自然の特徴，東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族，歴史的背景をふまえた地域の変容，ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展，地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		4節　南アジア 三つに分けられる地形とモンスーンの影響を受ける気候 1　南アジアの歩みとヒンドゥー教 2　インドの農業と農村の変化 3　発展するインドの産業と変化		○	○	○	a:南アジアについて，インドを中心とした地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:南アジアについて，インドのヒンドゥー教を背景とした地域の構造と変容，インドの農業と課題，IT 産業の発展のしくみなど地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:南アジアの自然の特徴，インドのヒンドゥー教を背景とした地域の構造と変容，インドの産業と生活の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		5節　西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる二つの地域の自然環境 1　イスラームを中心とした生活文化 2　交易を軸に発達した都市 3　豊かな資源と人々の生活		○	○	○	a:西アジアと中央アジアについて，乾燥帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:西アジアと中央アジアについて，二つのアジア地域の歴史的背景をふまえた地域の変容，交易を軸に発展した都市の共通性の背景，恵まれた資源と産業の共通性と課題などの地域的特色や地球的課題を，類似的な性格の二つの地域を比較して考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:西アジアと中央アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計資料や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，西アジアと中央アジアの相違点や近年の動向について読み取ることができる。 d:西アジアと中央アジアの自然の特徴，二つのアジア地域のイスラームを中心とした生活文化の歴史的背景をふまえた地域の変容，交易を軸に発展した都市や豊かな資源と産業などの共通する地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		6 節　北アフリカとサハラ以南のアフリカ 赤道を軸に南北で対照的な二つの地域の気候と植生 1　歴史的な背景によって形成された多様な文化 2　一次産品への依存が強い産業 3　人々の生活の変化とほか地域との結びつき		○	○	○	a:北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，中近東文化と中南アフリカ文化の地域にみられる地域的特色や地球的課題対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:北アフリカとサハラ以南のアフリカについて，歴史的背景をふまえた地域の変容，文化の異質性，一次産品への依存が強い経済構造，生活の変化とほか地域との結びつきなどの地域的特色や地球的課題を，対照的な性格の二つの地域を比較して考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:北アフリカとサハラ以南のアフリカ自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，北アフリカとサハラ以南のアフリカの相違点や近年の動向について読み取ることができる。 d:北アフリカとサハラ以南のアフリカの自然の特徴，中近東文化と中南アフリカ文化の地域の歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた文化の特徴，一次産品への依存が強い経済構造，生活の変化とほか地域との結びつきなどの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		7節　ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と安定した大地 1　ヨーロッパの成り立ち 2　結びつくヨーロッパ 3　ヨーロッパの多様な農業と共通農業政策 4　移り変わるヨーロッパの工業 5　これからのヨーロッパ 産業と文化で結びつく日本とヨーロッパ		○	○	○	a:ヨーロッパについて，ヨーロッパの各地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:ヨーロッパについて，産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容，各地域の民族と宗教の課題，EU を中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:ヨーロッパの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ヨーロッパの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:ヨーロッパの自然の特徴，産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容，各地域の民族と宗教の特徴，EU を中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		8節　ロシア 広大な国土と多様な自然環境 1　ロシアの歴史と社会の変化 2　大きく変化したロシアの産業 日本海をはさんだ隣国である日本とロシア		○	○	○	a:ロシアについて，亜寒帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:ロシアについて，かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容，社会主義時代からの農業や鉱工業の変容などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:ロシアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ロシアの特徴や近年の動向について読み取ることができる。 d:ロシアの自然の特徴，かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容，社会主義時代からの農業や鉱工業の変容などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		9節　アングロアメリカ 南北と東西で異なる自然環境 1　移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2　アメリカ合衆国の人口と都市 3　世界の農業のかぎをにぎるアメリカ合衆国 4　進展する科学技術と産業 5　世界の中のアメリカ合衆国 6　アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダ 経済・政治の重要なパートナーであるアメリカ合衆国		○	○	○	a:アングロアメリカについて，移民国家としてのアメリカ合衆国やカナダにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:アングロアメリカについて，移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容，人種・民族的課題，大都市問題の実態や背景，農業と工業の変化と課題，世界への経済・文化的影響，アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:アングロアメリカの自然・歴史・文化・産業など関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，アングロアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d:アングロアメリカの自然の特徴，移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた人種・民族の特徴，大都市問題の実態，農業と工業の変化，世界への経済・文化的影響，アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		10 節　ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境 1　ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2　大土地所有制と農業の変化 3　鉱産資源を基盤とした工業化と生活の変化 歴史的に関係の深い日本とラテンアメリカ		○	○	○	a:ラテンアメリカについて，スペインやポルトガルの影響を強く受けた地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:ラテンアメリカについて，歴史的背景をふまえた地域の変容や，複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴が生まれたしくみ，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の課題などの地域的特色や地球的課題を，有機的に関連づけて動態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:ラテンアメリカの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに，ラテンアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d:ラテンアメリカの自然の特徴，植民地化された歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた人種・民族の特徴や大土地所有制による農業，鉱産資源を基盤とした工業化の進展と経済的格差などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント
		11 節　オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々 1　オセアニアの移民の歴史と多文化社会 2　資源を通じて強まるアジア諸国との結びつき 3　アジア諸国に輸出される農畜産物 4　物や人の移動で強まるアジアとの結びつき 物や人の交流を深める日本とオセアニア		○	○	○	a:オセアニアについて，自然環境や歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:オセアニアについて，歴史的背景をふまえた地域の変容や，民族・文化的特徴が生まれたしくみ，深まるアジアとの関係と課題などの地域的特色や地球的課題を，有機的に関連づけて動態的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:オセアニアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとにオセアニアの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。 d:オセアニアの自然の特徴，オーストラリア，ニュージーランドの移民の歴史的背景をふまえた地域の変容，これによって生まれた民族・文化の特徴，深まるアジアとの関係の実態などの地域的特色や地球的課題を理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

		3 章　現代世界と日本 **1 節　日本が抱える地理的な諸課題** **2 節　日本の抱える課題の追究** 1　テーマを設定する 2　課題を探究する 3　仮説を検証する 4　まとめと発表	○	○		○	a:日本が抱える地理的な諸課題について，関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:日本が抱える地理的な諸課題について，これまでの歴史的経緯などをふまえ，その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現できる。 c:現代世界の日本に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これをもとに日本が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などが読み取ることができる。 d:さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本の現状と今後重要となる取り組みを理解し，その知識を身につけている。	定期考査 作業プリント

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。